

国際社会学部

倉田明子

Akiko Kurata

地域社会研究コース／東アジア地域

歴史学、地域研究



中国と香港の歴史と今

専門は中国と香港の近現代史です。東アジアの近代を南中国（特に上海や広州などの沿海都市、そして香港）の社会変容に着目して考察し、現代史、現状分析にもつながる歴史的なものの見方を考えます。

研究紹介

近代化⇄西洋化の波にのまれていった東アジアの19世紀を、東西の対立と交流の観点から、具体的にはキリスト教と英植民地香港から読み解いてきました。出発点は太平天国運動、その後キリスト教史、香港史を経て、香港の現在にも関心を広げています。

担当授業

- 中国の伝統と近代
- 中国の輪郭を知る：中華世界への招待
- 歴史資料体論
- 香港と中国の歴史
- 中国の歴史と社会

関連する分野

- キリスト教史（宗教史）

出版物

- 中国史（キリスト教史）
- 『中国近代開港場とキリスト教』
- 『はじめての中国キリスト教史』
- 『ようこそ中華世界へ』
- 『中国伝道四五年』（翻訳）
- 香港史
- 『香港の歴史』（翻訳）
- 『九龍城寨の歴史』（翻訳）
- 香港研究
- 『香港を知るための60章』
- 『香港危機の深層』
- 『香港と「中国化」』



国際社会学部

中国・香港の歴史と社会 ゼミ

どのようなゼミか

中国や香港の「過去」を歴史学の方法をもちいて理解し、またそのことを通して「現在」を歴史的な視点から考えてみる、というのが本ゼミのテーマです。

また、歴史に限らず、現代の中国、香港、台湾の社会や文化に関わるテーマに関心がある方も受け入れています。



卒論

- 日中戦争における中国女性—女性雑誌から見た理想的女性像—
- 『帝国の慰安婦』とその書評から「慰安婦」問題の展望を考える
- 家庭ドラマが描く中国の主婦たち—進む専業主婦化とジェンダー問題—
- 中国時代劇における声優・吹替の役割
- 東京近郊における「茶餐廳」出店の背景
- 中国における e スポーツの現状と分析
- 日本・台湾における近代化遺産活用環境の比較・考察

(地域社会研究コース 倉田明子ゼミ)

倉田ゼミは「中国近代史、香港・南中国地域史」を中心に扱いますが、ゼミ生は中国語科だけでなくマレーシア語科や朝鮮語科などの学生もいます。というのも、「中華圏」というものを考えたとき、華僑・華人圏も含まれ、その範囲は外大の語科の括りよりもずっと広いので、地域研究コースでありながら語科を跨いで学生と交流することができ（ることもあり）ます。また、一口に歴史といっても地域史、社会史、文化史など範囲が広く、ゼミ生の研究テーマも多岐に渡ります。そして、複雑難解な香港について、研究の第一線でご活躍なさる倉田先生から学ぶことができるこれ以上ない環境です。もちろん、倉田先生はご自身に馴染みのないテーマでも手厚くご指導くださるので、興味関心に応じてテーマを自由に設定することができます。優しく素敵な倉田先生のもとで、知の総合格闘技とも言える歴史学的アプローチに触れ、満足のいく卒論を書き上げたい方は是非お越しください！